

事業評価調書（新規）

課名	農政環境部 農林水産局 農村環境室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	室長 坊垣 昌明 (課長補佐兼 田園空間係長 横田 欣仁)	内線	3931 (4022)
----	-------------------------	-------------------------	-------------------------------------	----	--------------------

事業種目	農村総合整備	事業名	事業区間	総事業費	2.4 億円
		農村総合整備事業(村づくり型)	丹波東	内用地補償費	0.04 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
丹波市（旧春日町全域、市島町全域、柏原町及び氷上町の一部）	H23	H23	H27

事業目的	事業内容
<p><現状> 丹波市の東部に位置する本区域においては、昭和37年度からほ場整備に着手し、現在ほ場整備率は84%と整備水準は高いものの、整備後かなりの年数が経過していることから農業用施設の老朽化が顕著で、多大な維持管理労力・コストがかかっている。</p> <p>しかし本地域では、市島有機センターで製造された堆肥を使用した有機農業やアイガモ農法等環境創造型農業の推進が図られるとともに、黒大豆、大納言小豆等の丹波の特産物の生産が盛んに行われるなど、積極的な営農活動が展開されている。</p> <p><目的> 今後、高付加価値農業の推進や、丹波の特産物の生産を拡大し、地域の活性化を図るため、農業用排水路や揚水機等生産基盤整備を行う。さらには、快適な生活環境基盤を確保し新規就農者等の定住促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農業生産基盤整備 受益面積85ha ・農業用排水路 L=5.1km 6路線、ポンプ2箇所 [国50% 県13.5% 市12.5% 地元24%] ○環境施設(生産基盤) ・農業集落道 L=0.2km 1路線 [国50% 県7% 市14.5% 地元28.5%] ○環境施設(生活改善) ・防災安全施設 4箇所 [国50% 県0% 市17% 地元33%] <p>事業主体：丹波市</p>

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	<p>本地域では、昭和40年頃からほ場整備に着手しており、整備後約40年が経過していることから、農業用排水路の老朽化が顕著で、水路や揚水機の改修が急務である。また、快適な生活環境基盤を確保するため、農業集落道、防火水槽など環境施設の整備が必要である。</p> <p>①揚水機を含む用排水路の老朽化により、漏水や水管理等の維持管理について、多大な労力の負担を伴っている。このような状況を改善し、黒大豆、大納言小豆等丹波の特産物の生産性の向上を図るため、早急に農業用排水路等の改修を行う必要がある。</p> <p>②緊急車両の通行確保や安全・安心な生活環境を確保するため、狭小な集落道の拡幅や防火水槽の設置を行う必要がある。</p>
(2) 有効性・効率性	①農林水産省の基本指針に基づき算出した総費用総便益比はB/C=1.64（総便益額B=684百万円、総費用C=417百万円）であり、事業としての効果が期待できる。
(3) 環境適合性	①農業用排水路の整備にあたり、在来種の生態系を保全するため、石積み水路や魚巣ブロック等で整備を行う。
(4) 優先性	<p>①本地域では、「丹波市有機の里づくり協議会」を中心に特別栽培米「夢たんば」の生産が行われるなど、有機農業が盛んであり、今後県民に安全で信頼できる農産物を提供できるよう環境創造型農業の推進を図る必要がある。</p> <p>②効率的な営農を行い、黒大豆や大納言小豆などの丹波の特産物の生産を拡大し、いちじま丹波太郎や道の駅丹波おばあちゃんの里等の農産物直売施設での販売を促進することで、地域の活性化を図る必要がある。</p>

(注) 別に定める指標評価表、図面等を添付すること。

農村総合整備事業 丹波東地区 全体計画図

防火水槽地下埋設型 (改修イメージ)



老朽化による水路の破損 (丹波市市島町酒梨)



改修された水路 (イメージ)

老朽化による水路のずれ (丹波市春日町多利)

凡 例	
市町村界	*****
地区界	—————
農業集落地域界	—————
市街化区域界	—————
旧町界	*****

農村総合整備事業「丹波東地区」

事業計画			
工種	記号	事業量	施工箇所
用水路①	—	620m	市島町酒梨
用水路②	—	1,650m	春日町多利
用水路③	—	1,890m	春日町野村
用水路④	—	200m	市島町八日市
揚水機場①	⊙	1箇所	春日町野上野
揚水機場②	⊙	1箇所	氷上町西中
排水路①	—	150m	氷上町大岡
排水路②	—	620m	柏原町北山
農業集落道	—	230m	春日町下三井庄
防火水槽①	□	1箇所	春日町小多利
防火水槽②	□	3箇所	春日町野上野



狭幅な集落内道路 (丹波市春日町下三井庄)



拡幅された道路 (イメージ)



直売施設「いちじま丹波太郎」



米粉販売施設



いちじま丹波太郎

市島有機センター

用水路①

用水路②

用水路③

用水路④

揚水機場①

揚水機場②

排水路①

排水路②

農業集落道

防火水槽①

防火水槽②



環境創造型農業を支える有機堆肥「市島ユーキ」



道の駅「丹波おばあちゃんの里」



市立市島有機センター



工程表

	H23	H24	H25	H26	H27
実施設計	↔				
生産基盤	←			→	
環境施設 (生産基盤的)			↔		→
環境施設 (生活改善的)		←			→

B/C根拠説明資料

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
総合整備	作物生産便益 農業用排水施設の改修による干害防止や水路管理改修等による作物収穫量の増、また整備により水路等の機能が保全されることで現況単収が維持される便益の合計	年効果額(円/年) = 作付面積(ha) × 現況単収(kg/10a) × 増加率(%) × 作物単価(円/kg) × 純益率(%)
	維持管理費節減便益 既設の施設にかかる維持管理費と計画施設にかかる維持管理費との比較による経費節減額の合計	年効果額(円/年) = 現況施設維持管理費(円/年) - 計画施設維持管理費(円/年)
	生活環境改善便益 農村生活環境の改善により日常生活の安全性や快適性が維持・向上する効果額の合計	年効果額(円/年) アンケートによる住民支払意志額単価 × 受益戸数

費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B/C	
		便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)		
総合整備	農村総合整備事業 村づくり型	作物生産便益	566	用水路が未整備の場合に想定される単収減の抑制	417	240	/	1.64	
		維持管理費節減便益	34						水路ライニング等による維持管理の減
		生活環境改善便益	84						集落道、防火水槽についての支払意志額
		総便益	684						

費用便益比算定：「土地改良事業の費用対効果分析に関する基本指針の制定について」（農林水産省農村振興局長通達）